

# 市民協働かわら版

No.27

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一丁目

TEL：〇七二一四八二〇〇〇四

(平成二十八年八月三十一日発行)

八月二十四日(水)に平成二十八年度第五回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市役所別館一階会議室1・2で開催され、六名(市民五名、職員一名)の参加でサロンが始まりました。【共催：泉南市ABC委員会】  
当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

①八月二十一日に開催された元気育成にぎわいコムーネ創出事業「思いを形に、志を行動に」(市行革・財産活用室主催)の講座内容について

「市民(民)が地域課題解決や地域を元気にしていくために活動を行う上で、行政からの補助金をあてにするのではなく、その活動に必要な資金を活動の中で自分たちで稼ぎながら活動を行っていくというスタイルもあることを学んだ。自分たちで資金を稼ぐことにより、補助金による制約などもなく、柔軟な活動が可能となる。そして、よりやりがいを感じる事ができ、市民活動の活発化につながり、地域課題解決に結びつくのではないかと感じた。」

②せんなんかるた普及実行委員会の活動について

「八月の会議の際に新聞社からの取材があった。これは地域を紹介しているかるたを普及させるという活動が行政主導ではなく、市民主導で寄付集め、増刷、販売することで、地域を盛り上げていくというところに興味を持たれたのだと思う。これからは、自分たちのまちを自分たちの子どもや孫に住んでいてよかったと思ってもらえる魅力あるまちにしていきたいにも、市民でできないところは行政に任せるが、市民でできるところは市民自らが自分たちで発案し、実行していく、市民も行政も協力しながらまちづくりを行っていくかなければならないと感じた。」

③教育分野での市民活動について

「市内の小中学校で市民活動を行っていきたい。例えば中学校の敷地内の樹木の剪定や草刈等、なかなか行政だけでは常に美しく保つのは難しいと思う。やはり、地域の市民が協力することで、剪定や草刈等の回数を増やすことができれば、校内が美しく保つことができ、子ども達が良い学習環境で過ごすことにつながっていくと思う。そのためにも、もっと多くの市民が市民活動に参加してもらえればと思う。」

④泉南・市民まちづくりサロンについて

「市民活動を増やすためには、市民同士、団体同士が知り合い、協力していくことが必要である。その意味ではこのまちづくりサロンは良い場であるが、参加者が増えない状況である。今後、参加者の輪を広げていくためには、市広報紙への紙面の載せ方、ホームページやフェイスブックの活用、参加者自身の人づてでの宣伝など、広報の仕方を工夫していかなければならない。」

他にも、泉南をもっと活性化させるためのいろいろなテーマが出され、堺市中心市街地活性化について取材に行かれた参加者による説明などもあり、市民同士の情報共有が図られました。

今回のサロンは、少人数の開催となりましたが、内容の充実したサロンとなりました。

次回は九月二十八日(水)午後一時三十分から市立埋蔵文化財センターで開催する予定です。多くの市民の皆さんの積極的なご参加をお待ちしております。

